

中小企業景況調査報告書

平成 21年 10月～12月 実績

平成 22年 1月～3月 予測

京都府商工会連合会

目 次

1. 中小企業景況調査の概要(京都府).....	2 ~ 3
2. 京都府内産業全体の景況.....	4 ~ 5
3. 製造業の景況.....	6 ~ 8
4. 建設業の景況.....	9 ~ 11
5. 小売業の景況.....	12 ~ 14
6. サービス業の景況.....	15 ~ 17

D・Iとは

この報告書の中で用いているD・I指数とは、デیفュ・ジョン・インデックスの略で、企業経営者の景気動向の度合いを表す指標として利用されています。

算出方法

増加（上昇・好転・長期化等）企業割合 - 減少（低下・悪化・短期化等）企業割合

D・Iが、プラス（+）値..... 強気（楽観）を表す。

D・Iが、マイナス（-）値..... 弱気（悲観）を表す。

例えば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減小企業20%の場合、

D・I指数は $50\% - 20\% = 30\%$

となり、経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

中小企業景況調査の概要 (京都府)

この調査は、商工会地域の産業の状況等地域の経済動向等について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集把握して、経営改善普及事業の効果的な指導資料にするため、昭和54年度から全国商工会連合会と提携し、全国一斉に実施しているものです。

調査要領と、本年度の調査対象商工会及び調査回答企業数の内訳は次のとおりです。

1. 調査対象期間

平成21年10月～12月期を対象とし、調査実施時点は11月15日(日)、実施期間は11月10日(火)～11月16日(月)とした。

2. 調査の方法

- (1) 商工会の経営支援員の訪問による面接調査とした。
- (2) 調査対象商工会の選定は、管内ごとの市町村人口を勘案し、調査対象企業の抽出は、各業種・規模等の有意抽出法とした。

3. 調査対象商工会及び回答企業数 (調査対象企業数 150企業)

商工会名	製造業	回答数	建設業	回答数	小売業	回答数	サービス業	回答数	構成比
福知山市	3	3	3	2	4	4	5	5	93.3%
八幡市	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
京丹後市	6	6	6	6	9	9	9	9	100.0%
南丹市	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
大山崎町	3	2	3	3	4	4	5	5	93.3%
井手町	4	3	3	3	5	5	3	3	93.3%
宇治田原町	3	3	3	3	4	4	5	5	100.0%
木津川市木津町	3	3	3	3	5	5	4	4	100.0%
京丹波町	3	3	3	1	4	3	5	5	80.0%
合計	31	29	30	27	43	42	46	46	96.0%

対象業種別構成等

	業 種 別	対象企業数	構 成 比	回答企業数	回 答 率
製造業	09 食 料 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	10 飲 料 ・ た ば こ ・ 飼 料 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	11 織 維 工 業	7	22.6%	7	100.0%
	13 家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	15 印 刷 ・ 同 関 連 業	2	6.5%	2	100.0%
	16 化 学 工 業	1	3.2%	1	100.0%
	18 プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業	3	9.7%	3	100.0%
	21 窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	23 非 鉄 金 属 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	24 金 属 製 品 製 造 業	8	25.8%	7	87.5%
	26 生 産 用 機 械 器 具 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	27 業 務 用 機 械 器 具 製 造 業	1	3.2%	0	0.0%
	31 輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	2	6.5%	2	100.0%
	32 そ の 他 の 製 造 業	1	3.2%	1	100.0%
	小 計	31	20.7%	29	93.5%
建設業	06 総 合 工 事 業	21	70.0%	18	85.7%
	07 職 別 工 事 業	2	6.7%	2	100.0%
	08 設 備 工 事 業	7	23.3%	7	100.0%
		小 計	30	20.0%	27
小売業	56 各 種 商 品 小 売 業	1	2.3%	1	100.0%
	57 織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	6	11.8%	6	100.0%
	58 飲 食 料 品 小 売 業	20	46.5%	19	95.0%
	59 機 械 器 具 小 売 業	7	16.3%	7	100.0%
	60 そ の 他 の 小 売 業	9	20.9%	9	100.0%
		小 計	43	28.7%	42
サービス業	44 道 路 貨 物 運 送 業	1	2.2%	1	100.0%
	68 不 動 産 取 引 業	1	2.2%	1	100.0%
	72 専 門 サ ー ビ ス 業	2	4.3%	2	100.0%
	74 技 術 サ ー ビ ス 業	2	4.3%	2	100.0%
	75 宿 泊 業	2	4.3%	2	100.0%
	76 飲 食 店	13	28.3%	13	100.0%
	78 洗 濯 ・ 理 容 ・ 美 容 ・ 浴 場 業	15	32.6%	15	100.0%
	79 そ の 他 の 生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	1	2.2%	1	100.0%
	88 廃 棄 物 処 理 業	2	4.3%	2	100.0%
	89 自 動 車 整 備 業	6	13.0%	6	100.0%
	92 そ の 他 の 事 業 の サ ー ビ ス 業	1	2.2%	1	100.0%
		小 計	46	30.7%	46
合 計		150	100.0%	144	96.0%

* 対象業種区分は「平成21年度中小企業景況調査実施要領」による。

・京都府内産業全体の景況

(概要)

・売上高は、サービス業の横ばいを除いて全業種で改善されており、採算については、全業種で改善されているなど、厳しいながらも、府内商工会地域での景況の持ち直しのきざしが、弱いながらも感じられる。

・なお、採算の改善の一つの要因として、原材料仕入れ単価が、1年前から全ての業種で低下していることが考えられるが、需要の停滞による製品単価や請負代金の低下等も同時に招いているなど、企業にとっては、あまり喜べない状況となっている。

・来期については、このようなことから、中小企業及び小規模事業者にとっては、先行きが見えない状況となっており、ほとんどのD.I.(景気動向指数・前年同期比)で悪化の予測がなされるなど慎重な見方が多数を占める結果となっている。

業種別景況指標 (景気の天気図)

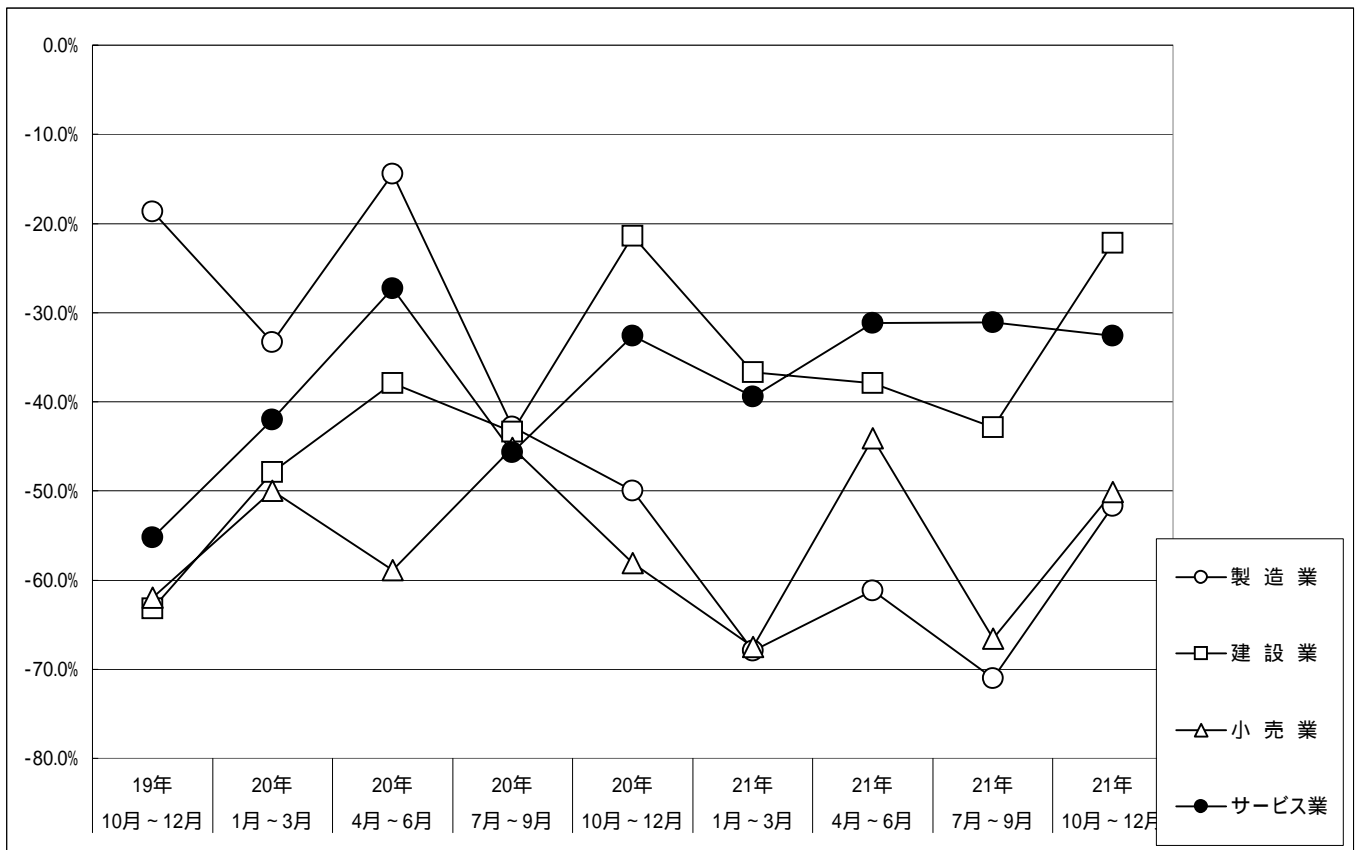
	20年 10月～12月	21年 1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	(見通し) 1月～3月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

天気図のよみ方

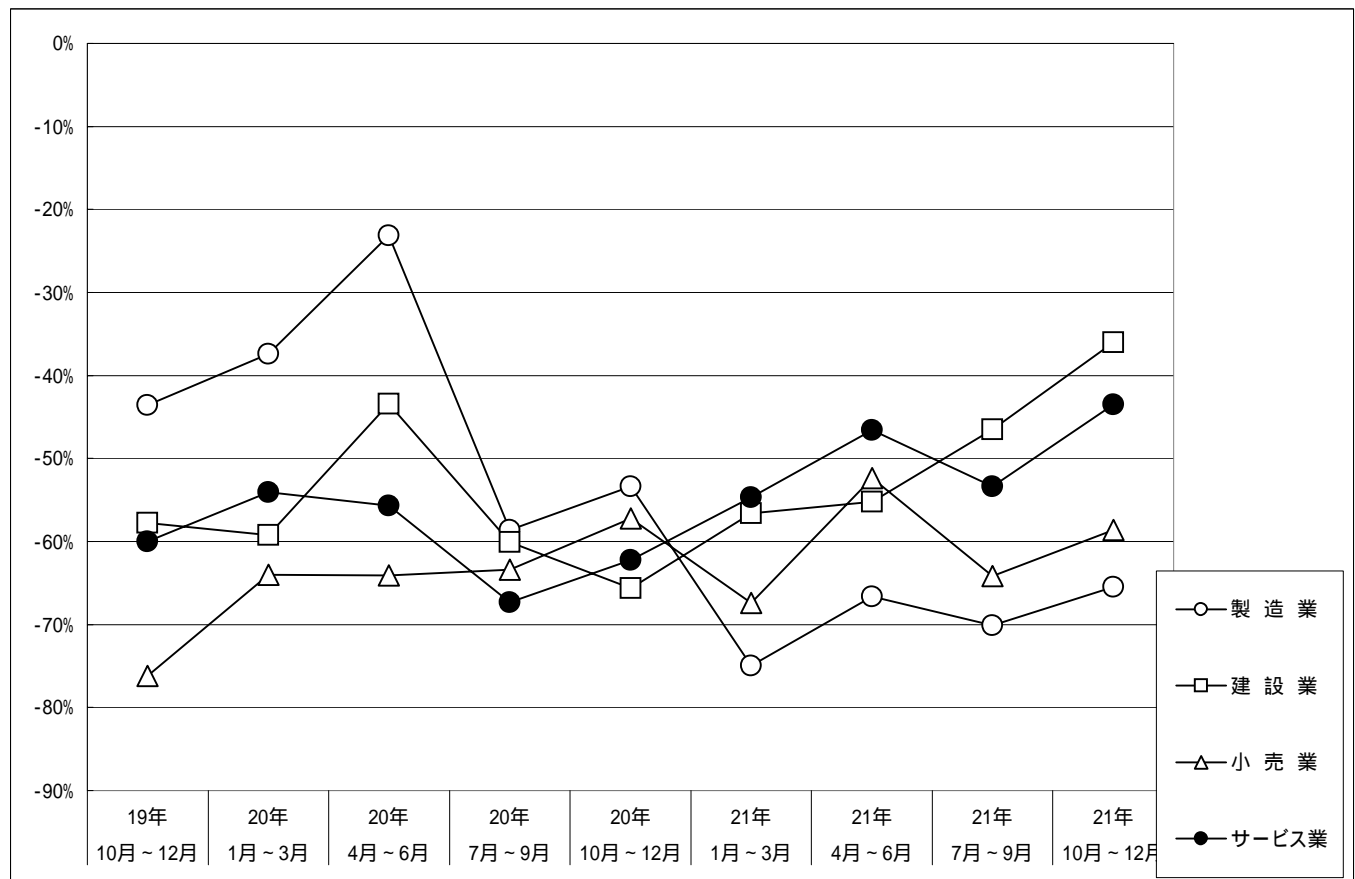
D・I値	50.1～100.0	25.1～50.0	0.1～25.0	0.0～25.0	25.1～50.0	50.1～100
指標						
内容	特に好転	好転	やや好転	やや悪化	悪化	特に悪化

2.売上高と採算の推移

売上高D・I (景気動向指数) の推移 - 前年同期比 -



採算D・I (景気動向指数) の推移 前年同期比



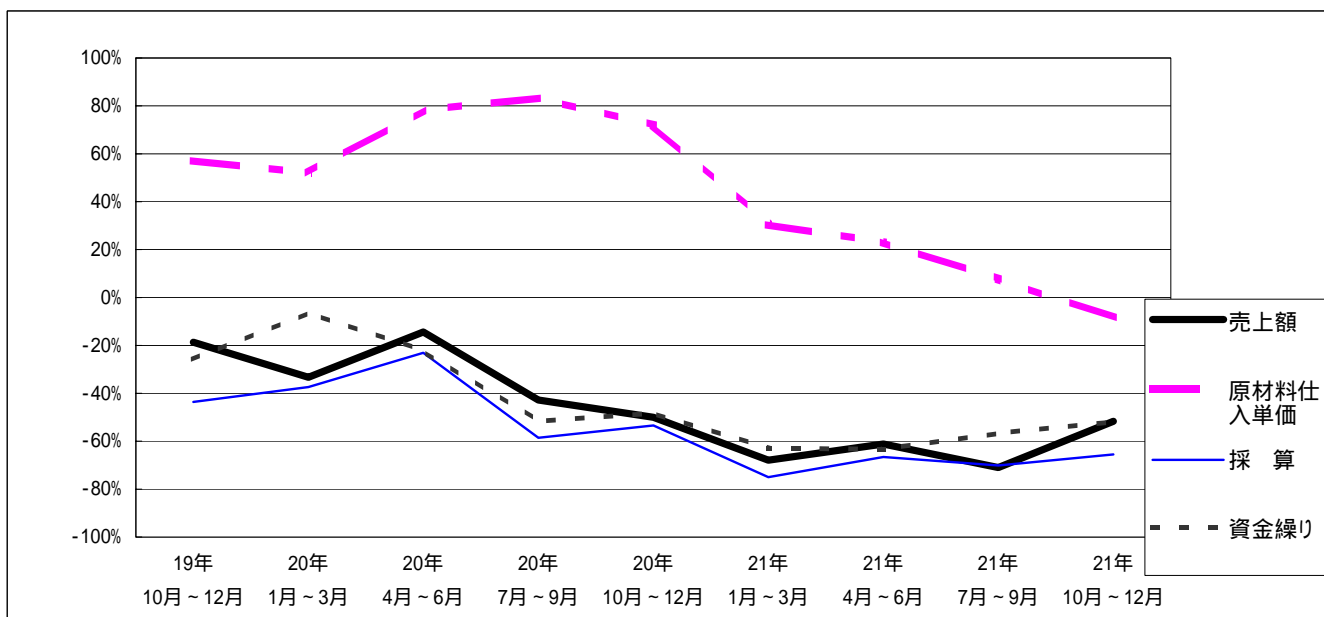
3. 製造業の景況

製造業の推移

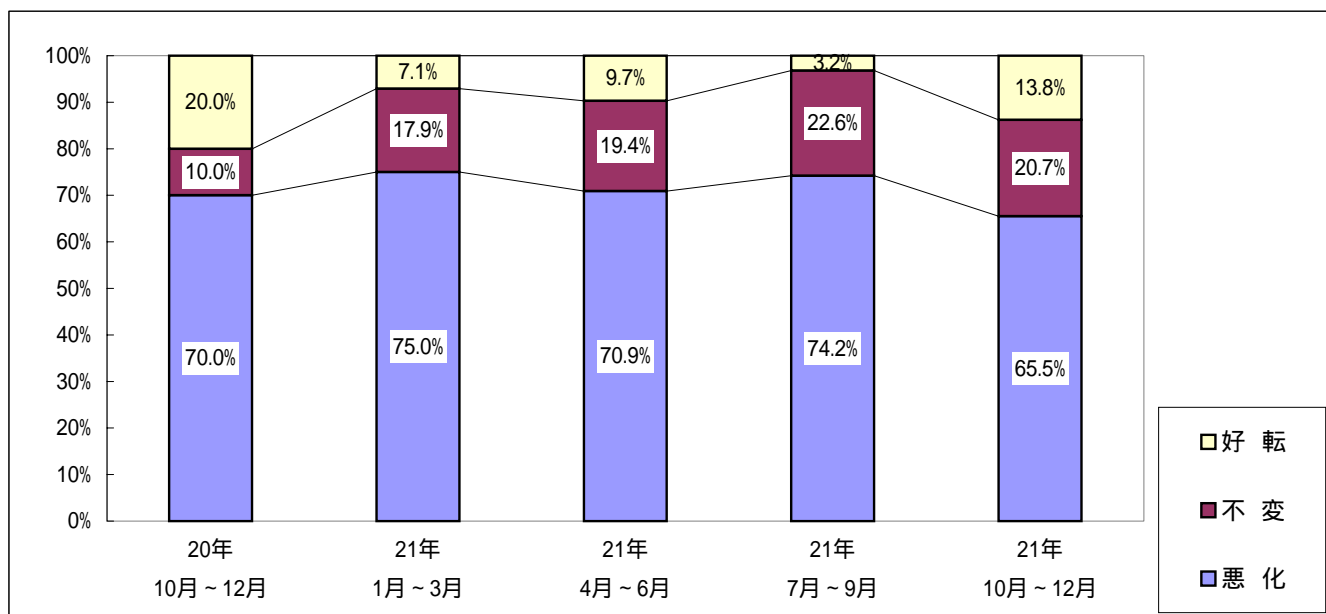
D・I（景気動向指数・前年同期比）は、売上額がマイナス51.7(前期比19.3ポイント上昇)と改善を示した。特に輸送機用機械器具製造業ではエコカー減税効果により自動車部品製造業に受注の増加が見られた。採算はマイナス65.5（同4.6ポイント上昇）、資金繰りは2期連続で改善されるもマイナス51.9（同4.8ポイント上昇）と、依然として厳しい状況が続いている。

製造業	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月
売上額	-50.0%	-67.9%	-61.2%	-71.0%	-51.7%	-46.5%
原材料仕入単価	72.0%	30.4%	23.1%	7.7%	-8.3%	13.0%
採算	-53.4%	-75.0%	-66.6%	-70.1%	-65.5%	-65.4%
資金繰り	-48.3%	-63.0%	-63.3%	-56.7%	-51.9%	-53.6%

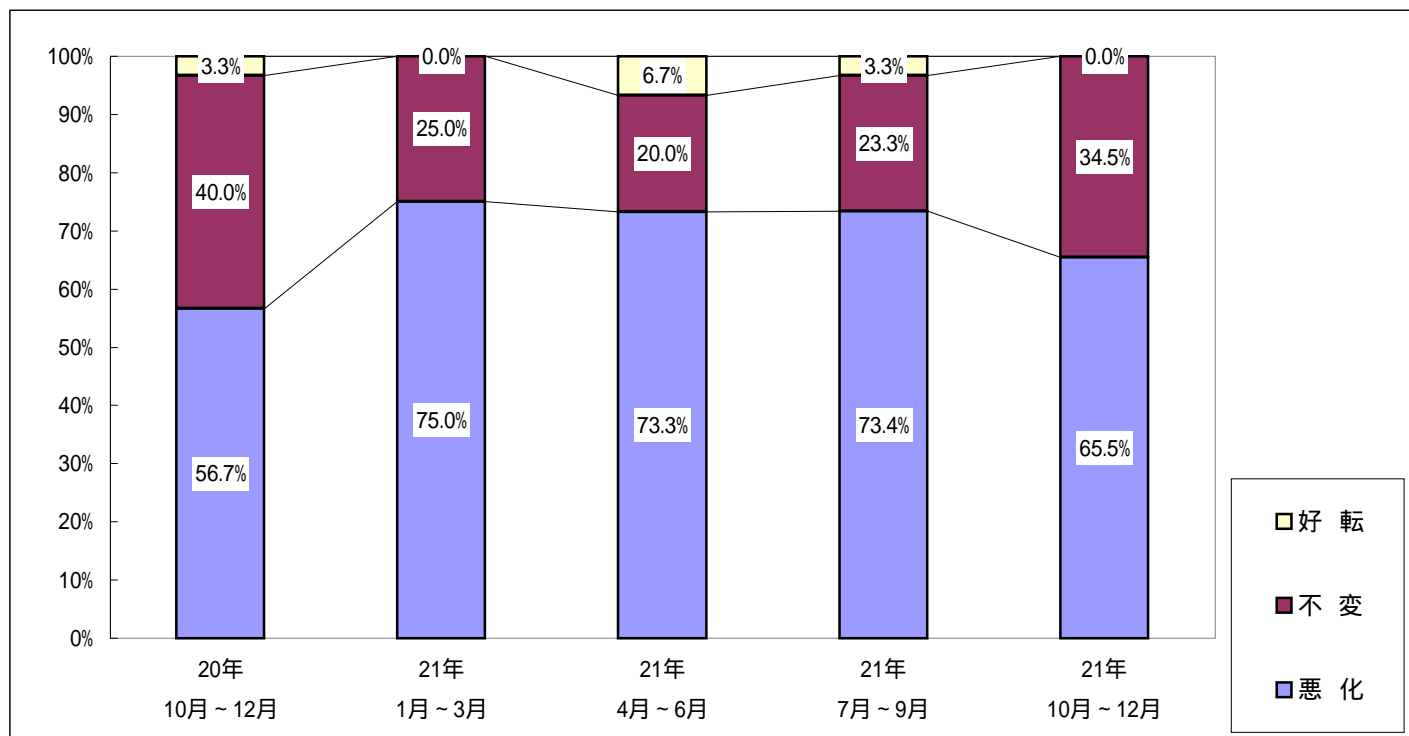
製造業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



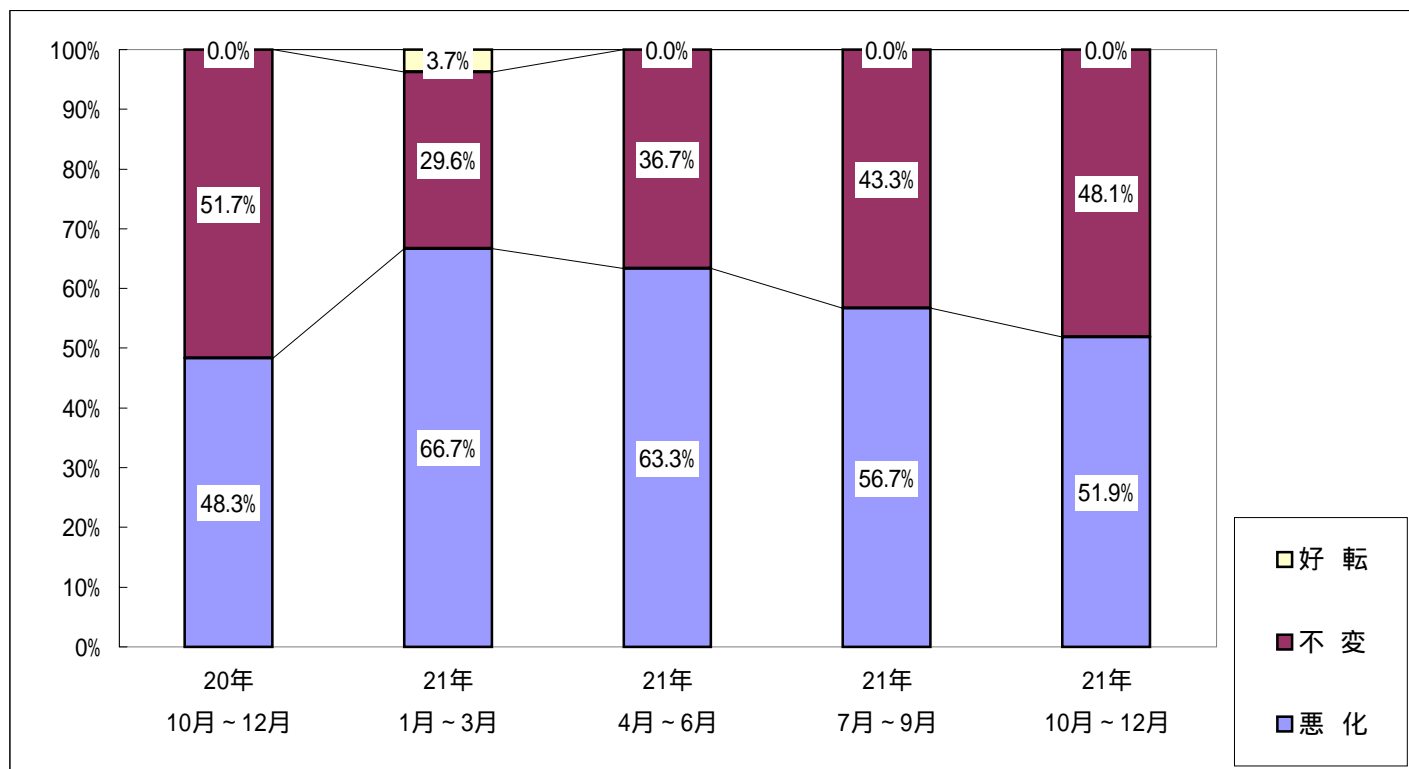
売上（加工）額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比（D・I値）



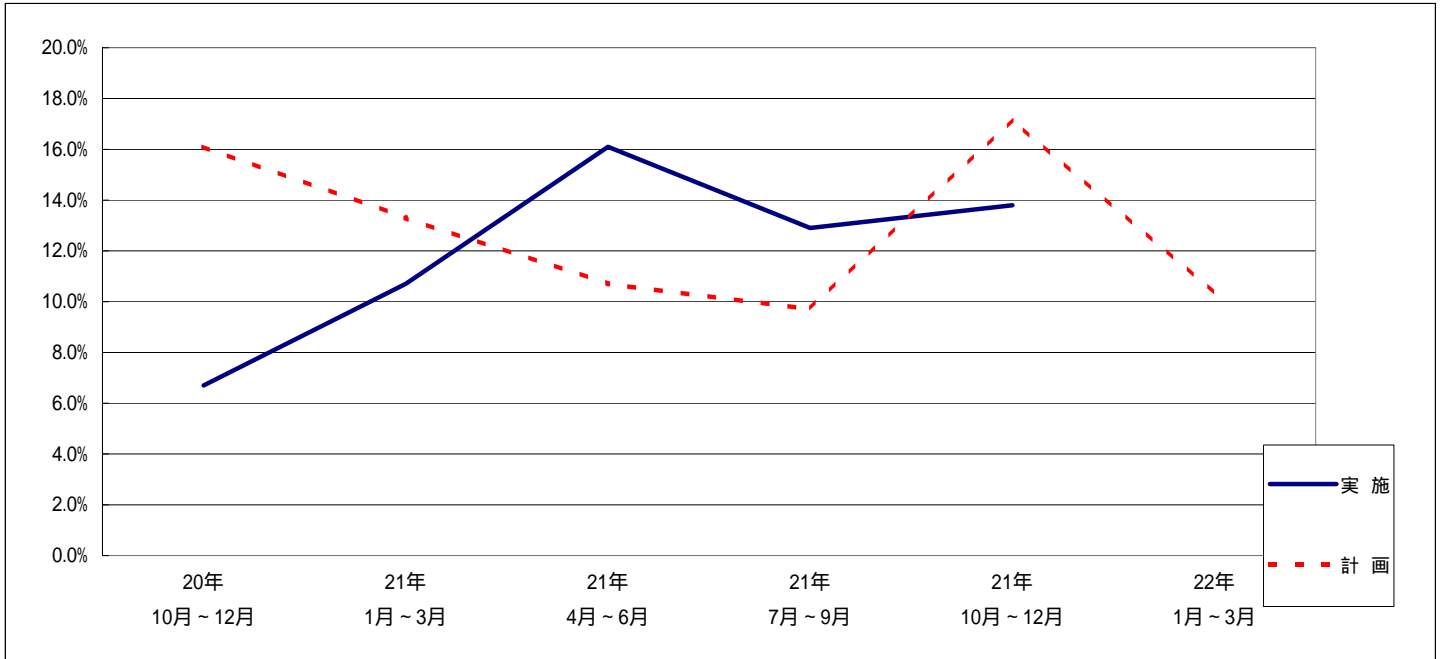
資金繰りの状況 前年同期比（D・I値）



設備投資の状況

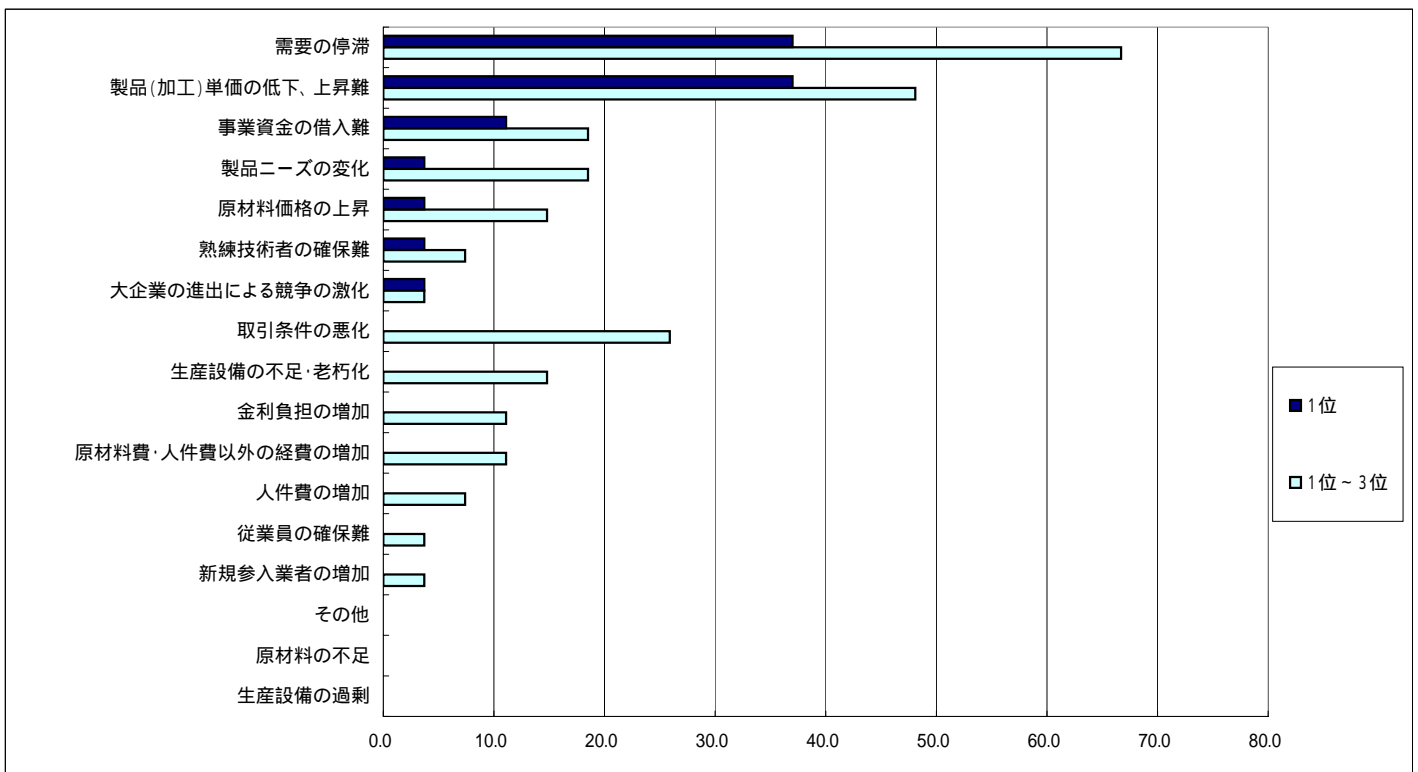
製造業	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月
土地	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	33.3%
車両・運搬具	0.0%	0.0%	60.0%	25.0%	50.0%	33.3%
生産設備	50.0%	66.7%	60.0%	75.0%	100.0%	66.7%

22年1月～3月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注)問題点の1位にあげた企業の割合

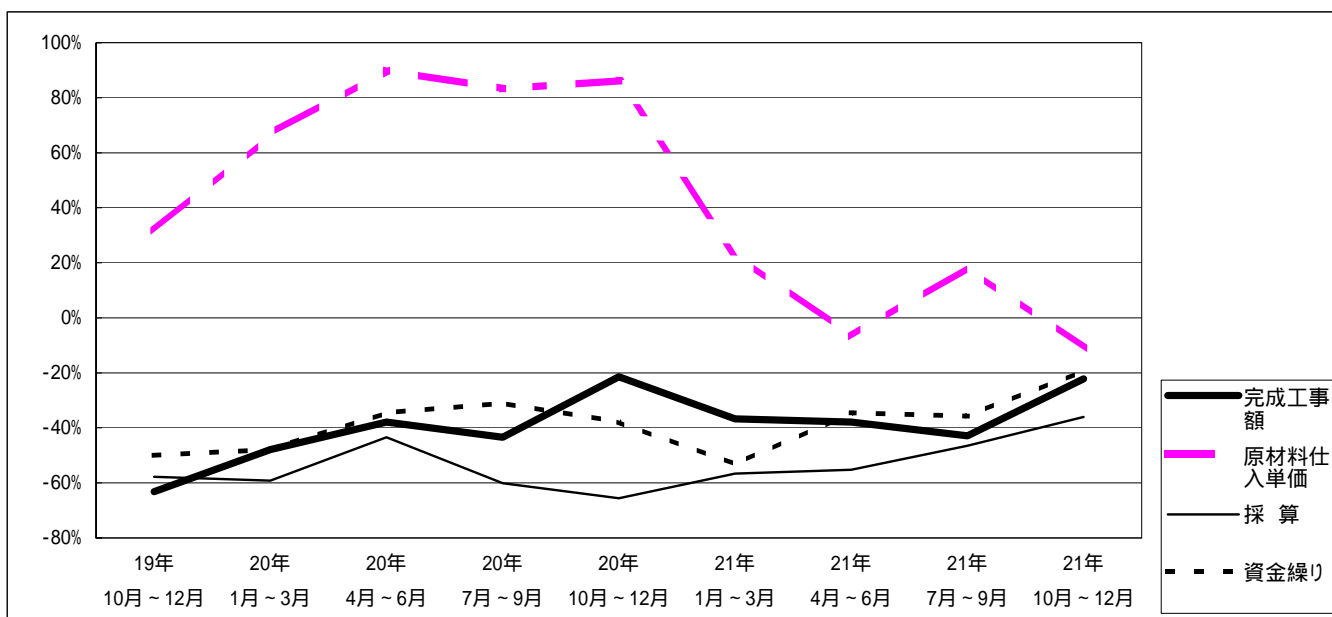
4. 建設業の景況

建設業の推移

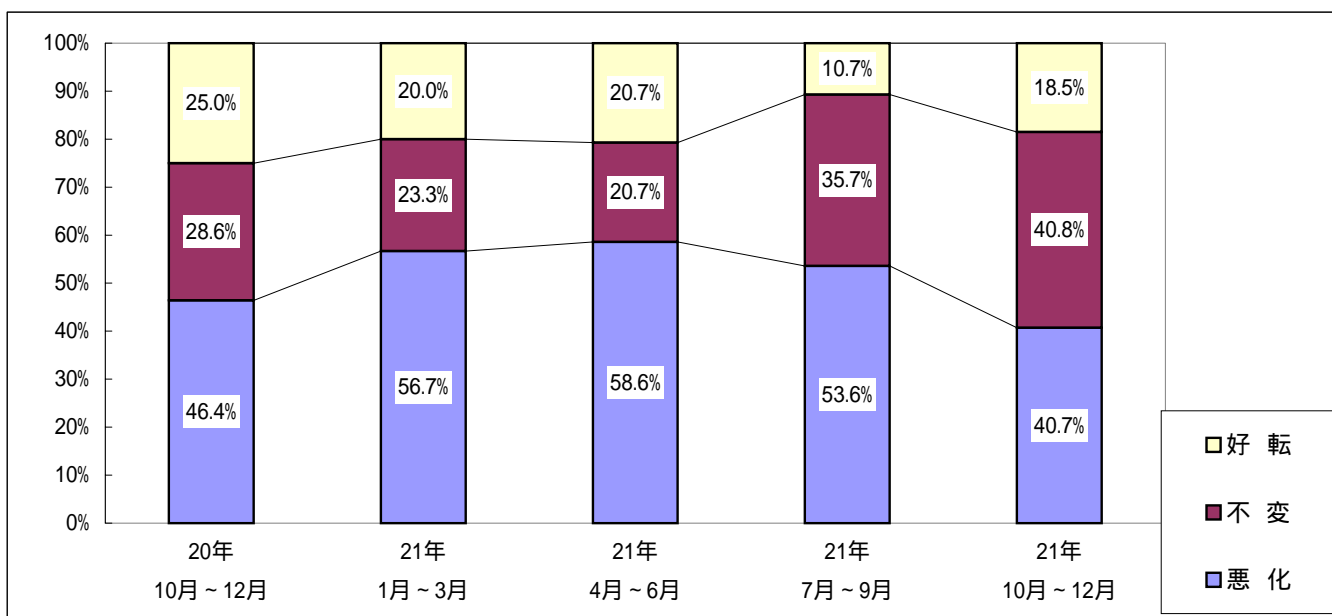
D・I（景気動向指数・前年同期比）は、完成工事額がマイナス22.2(前期比20.7ポイント上昇)となり、採算もマイナス36.0(同10.5ポイント上昇)と4期連続改善されるなど、業績が上向く傾向が現れ始めている。また、資金繰りもマイナス19.2(同16.5ポイント上昇)となり、全ての指数が10ポイントを超えて上昇しており、業種の中で一番景況が改善されている。

建設業	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月
完成工事額	-21.4%	-36.7%	-37.9%	-42.9%	-22.2%	-14.8%
原材料仕入単価	86.2%	23.4%	-6.9%	18.5%	-11.1%	-7.4%
採算	-65.6%	-56.6%	-55.2%	-46.5%	-36.0%	-33.3%
資金繰り	-37.9%	-53.3%	-34.5%	-35.7%	-19.2%	-37.0%

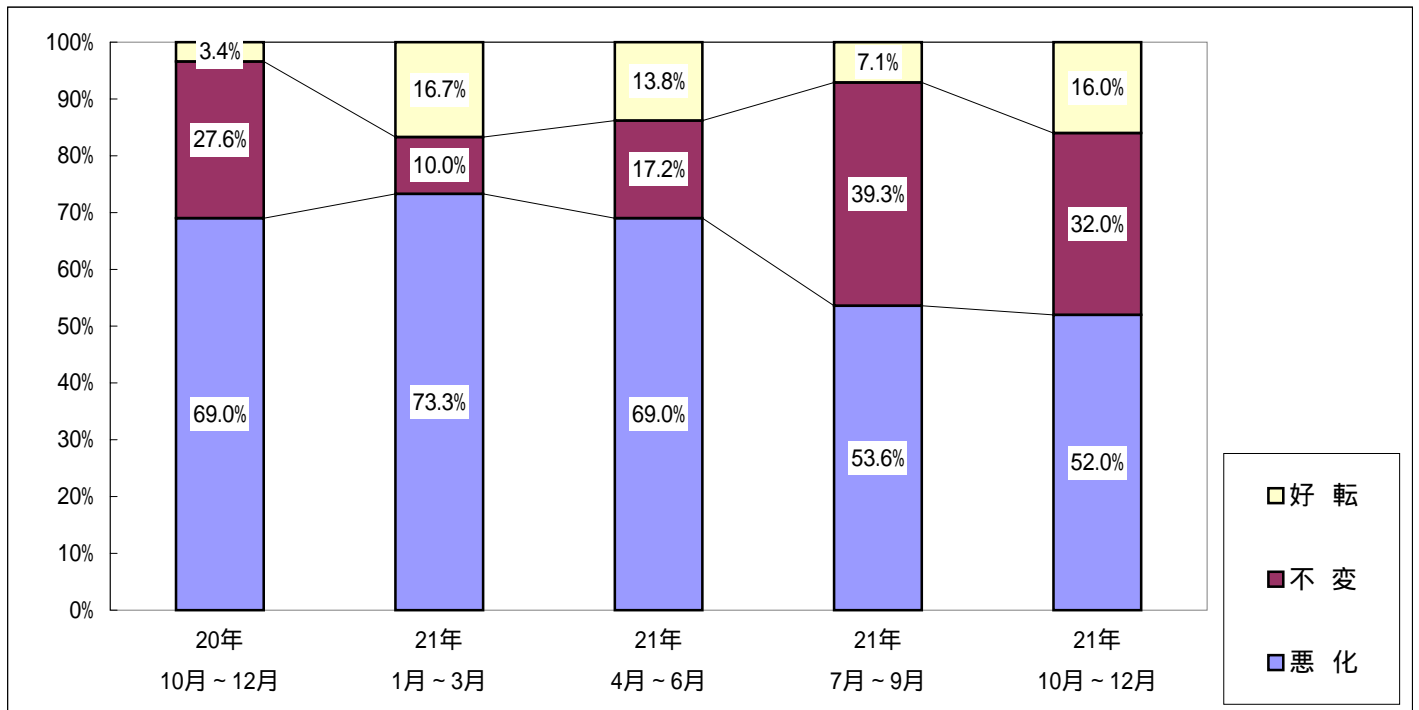
建設業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



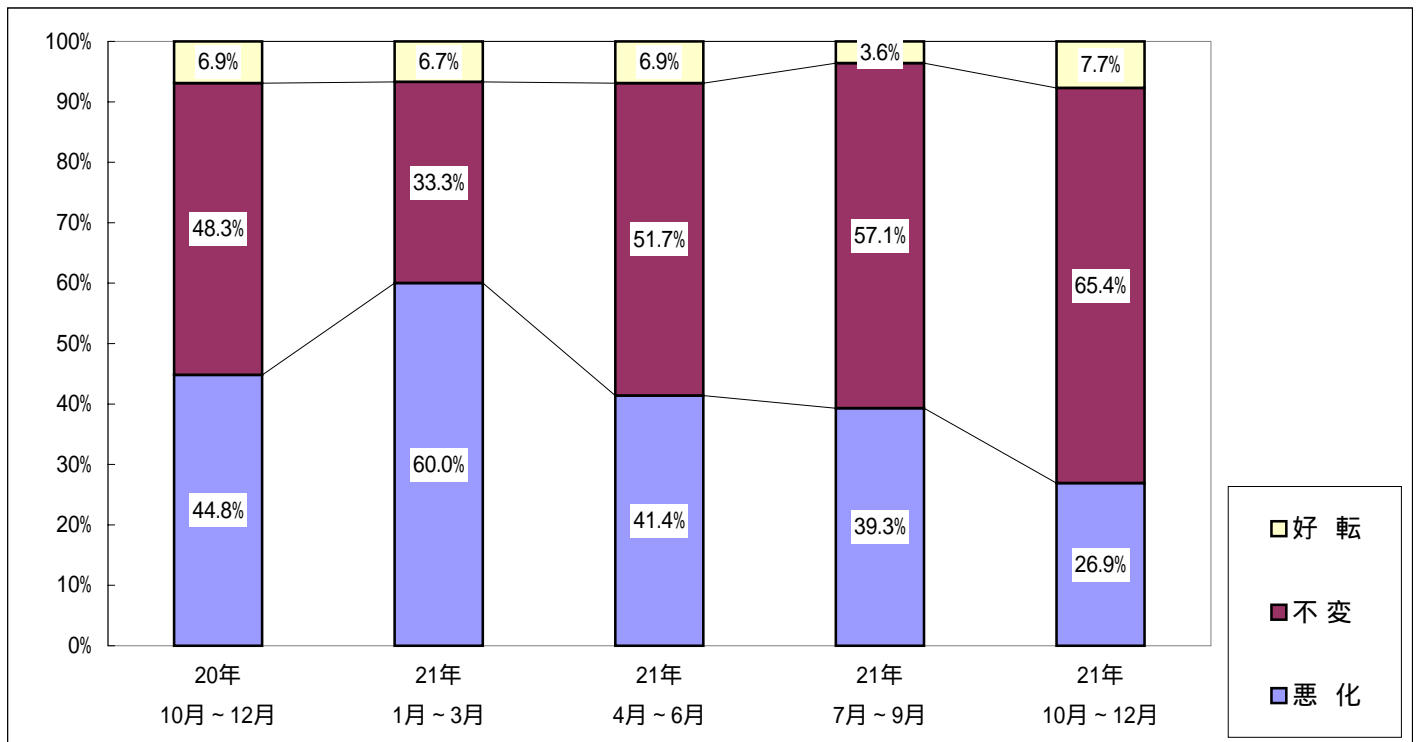
完成工事額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比 (D・I値)



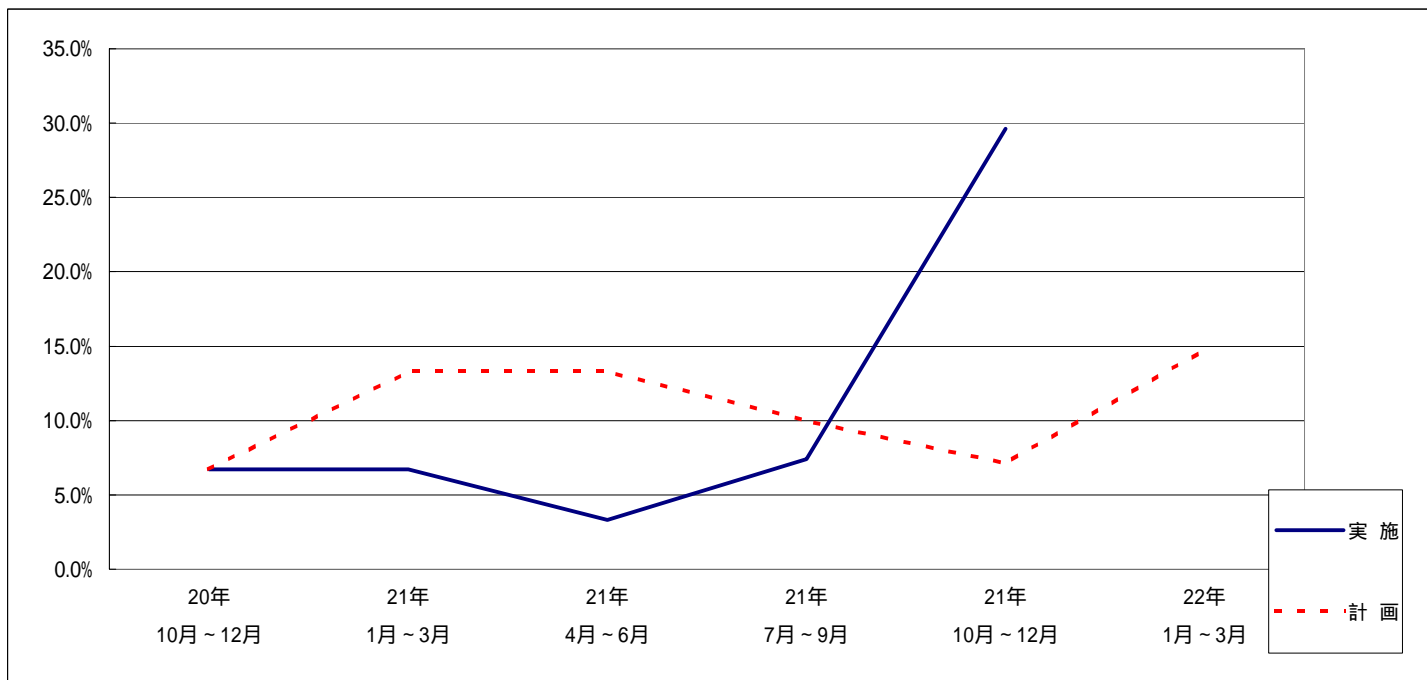
資金繰りの状況 前年同期比 (D・I値)



設備投資の状況

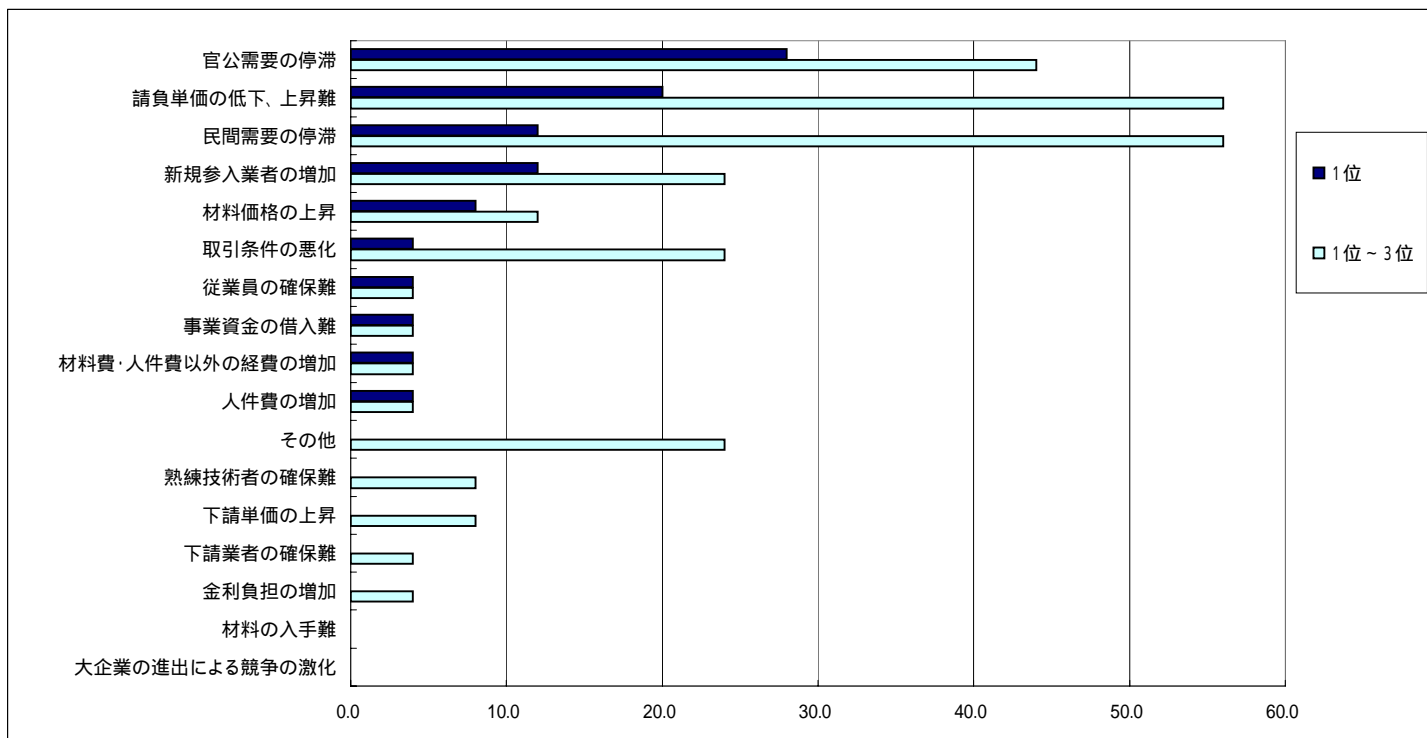
建設業	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月
土地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
車両・運搬具	100.0%	50.0%	100.0%	50.0%	37.5%	75.0%
建設機械	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	12.5%	0.0%

22年1月～3月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注)問題点の1位にあげた企業の割合

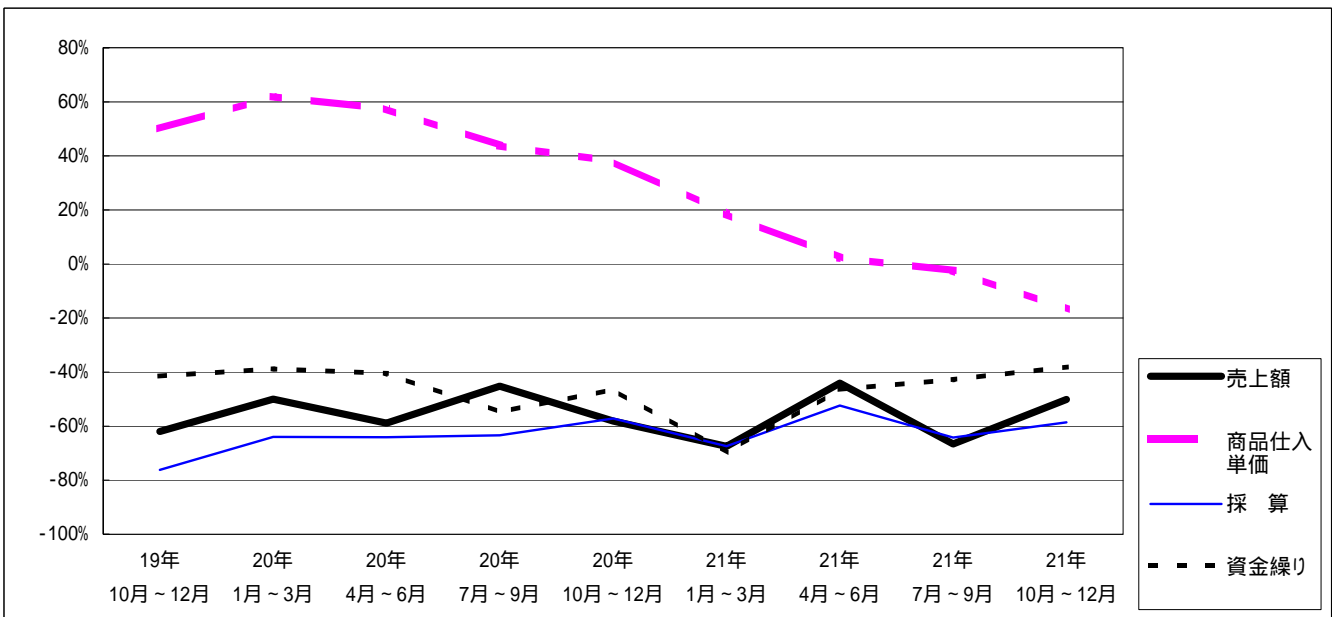
5. 小売業の景況

小売業の推移

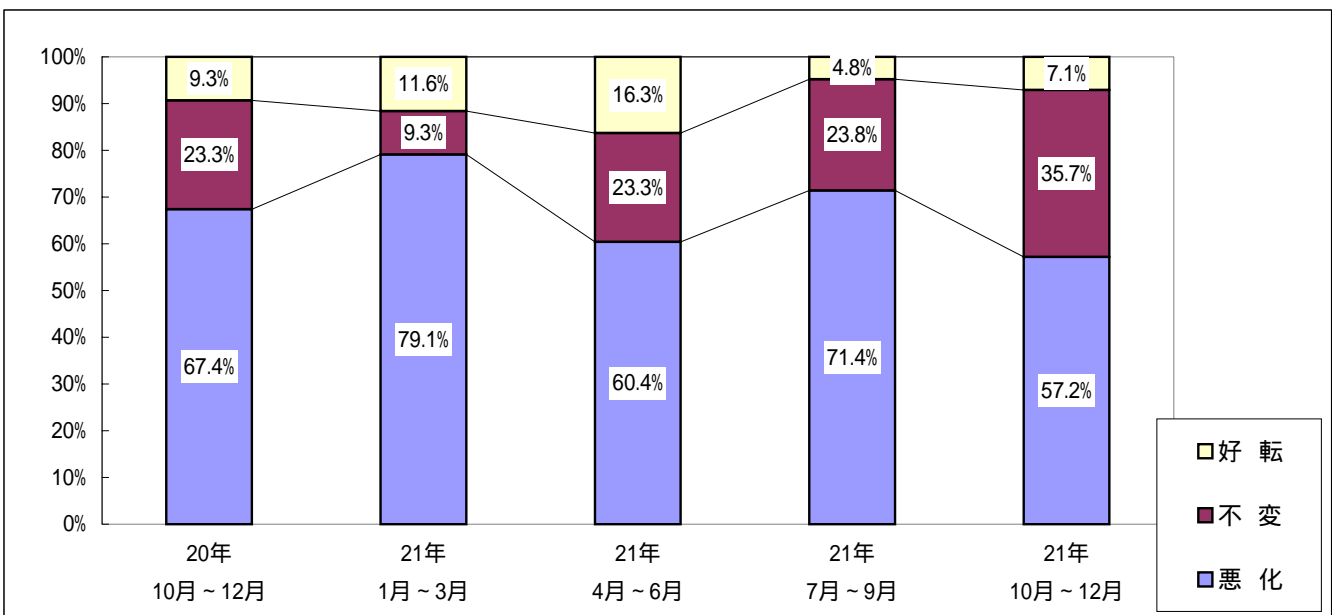
D・I（景気動向指数・前年同期比）は、売上額がマイナス50.1(前期比16.5ポイント上昇)となった。京都縦貫自動車道の京都わちインターチェンジの開通に伴い交通量が増加し、最寄りの小売業では、客数・売上が増加している。今後の高速道路無料化により更なる増加が見込まれる。採算はマイナス58.6（同5.6ポイント上昇）、資金繰りはマイナス38.1（同4.7ポイント上昇）と、3期連続改善されているが、依然として厳しい状況が続いている。

小売業	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月
売上額	-58.1%	-67.5%	-44.1%	-66.6%	-50.1%	-64.4%
商品仕入単価	38.0%	18.6%	2.3%	-2.4%	-16.7%	-16.7%
採算	-57.2%	-67.4%	-52.4%	-64.2%	-58.6%	-65.0%
資金繰り	-46.4%	-69.8%	-46.4%	-42.8%	-38.1%	-57.1%

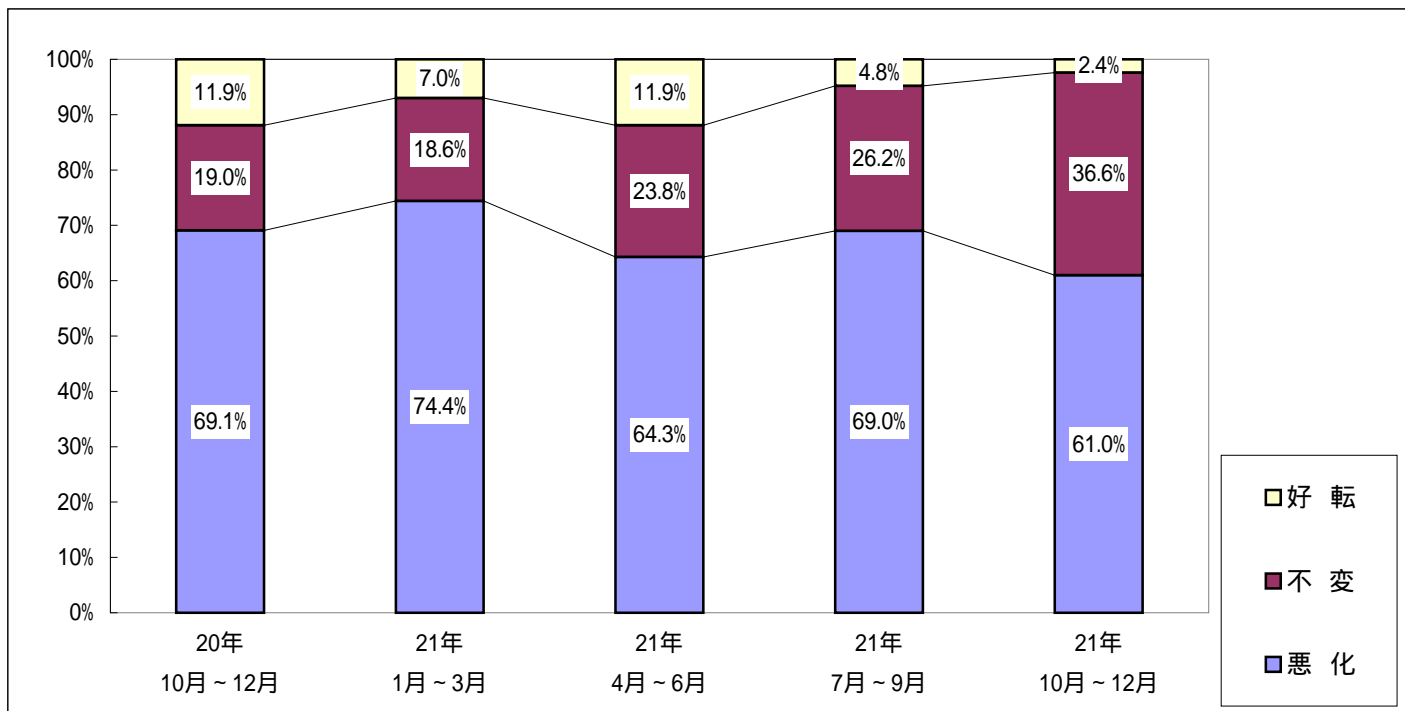
小売業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



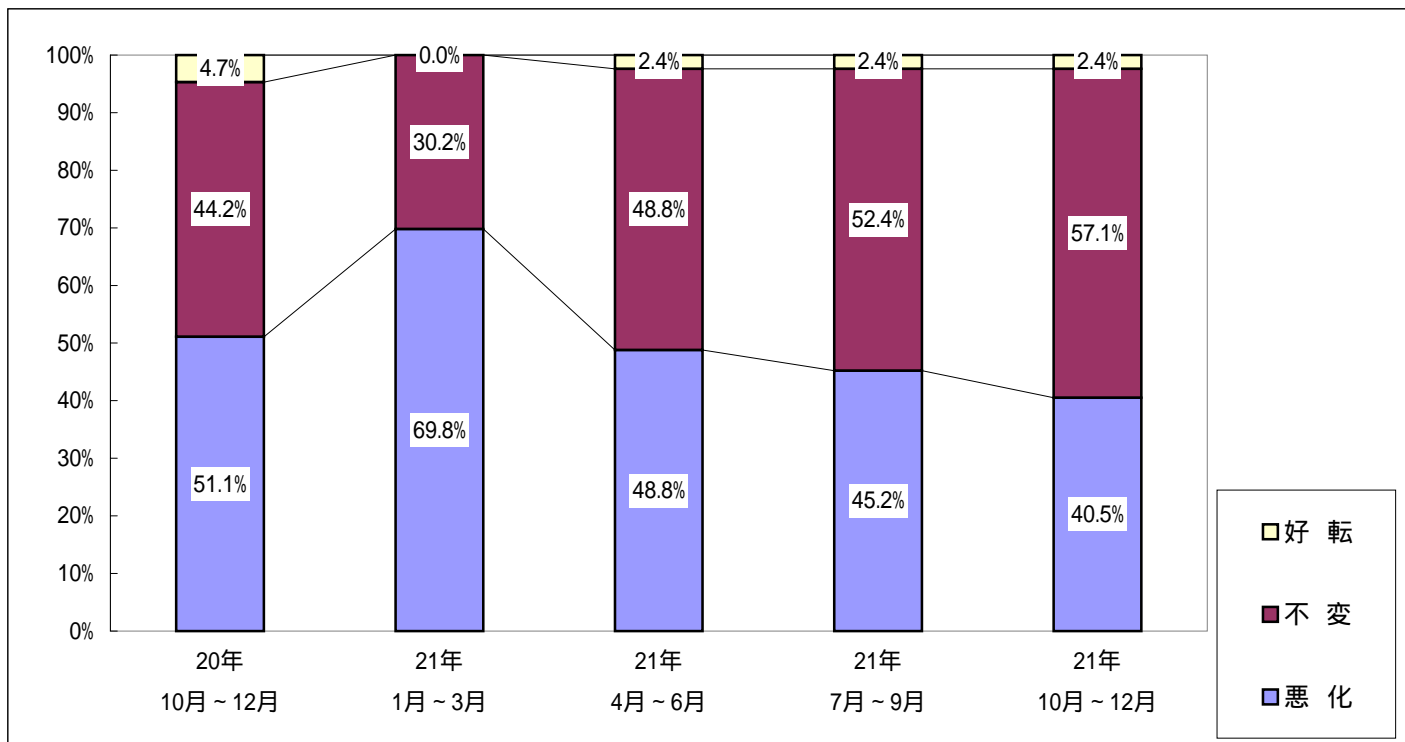
売上額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比（D・I値）



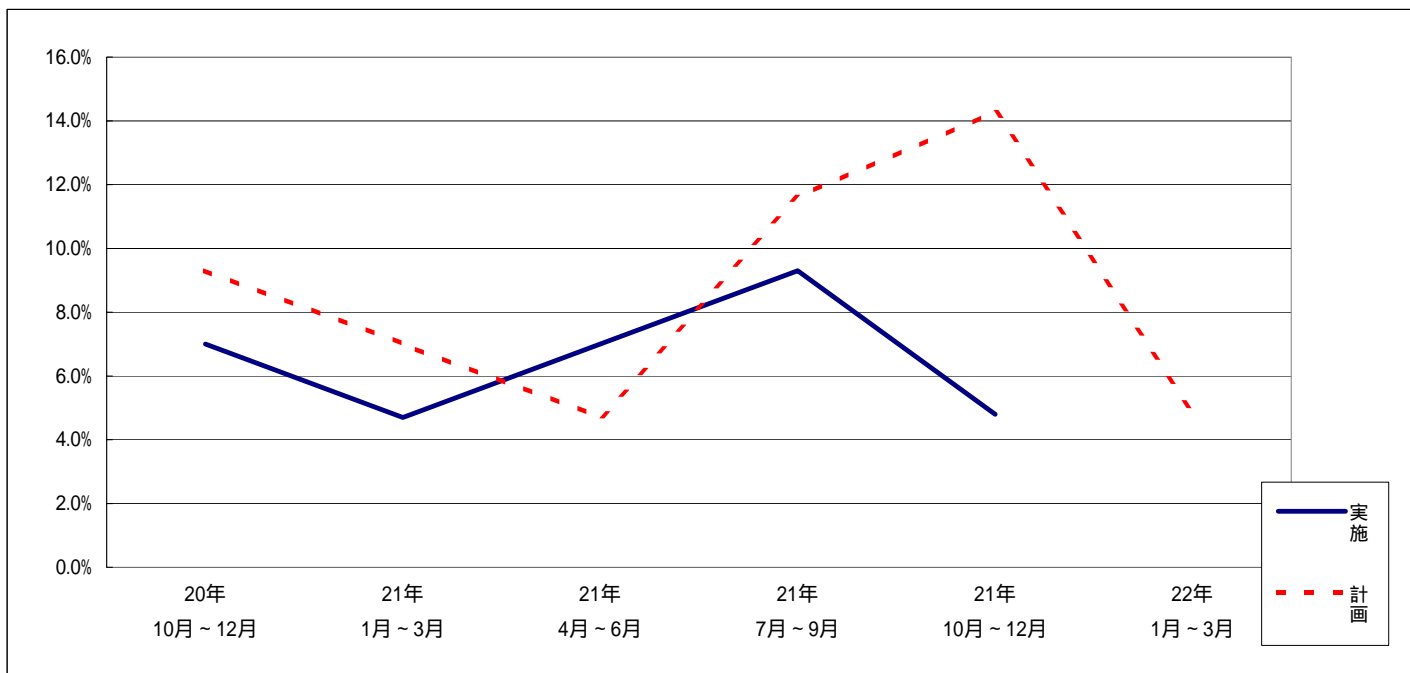
資金繰りの状況 前年同期比（D・I値）



設備投資の状況

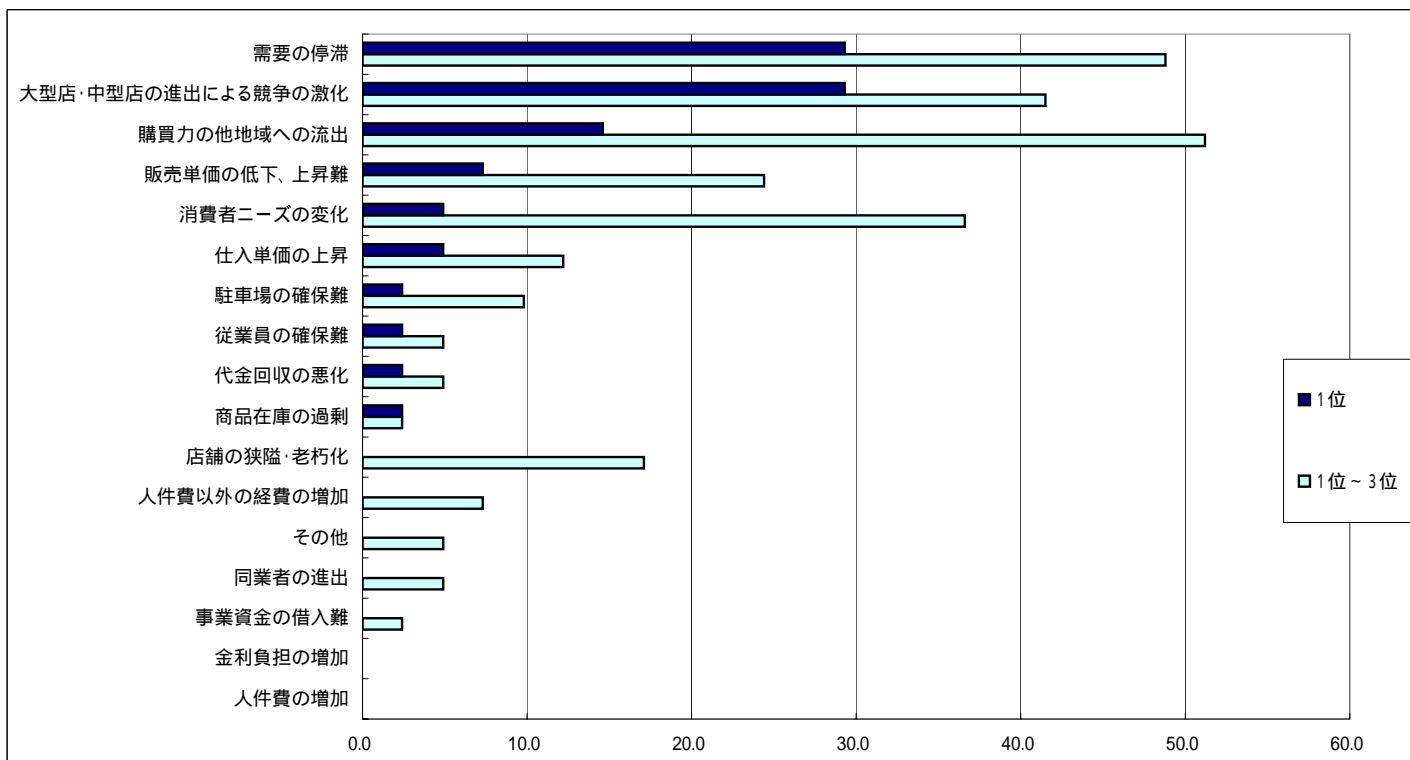
小 売 業	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月
土 地	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
車両・運搬具	66.7%	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%
販売設備	33.3%	50.0%	66.7%	50.0%	0.0%	50.0%

22年1月～3月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注) 問題点の1位にあげた企業の割合

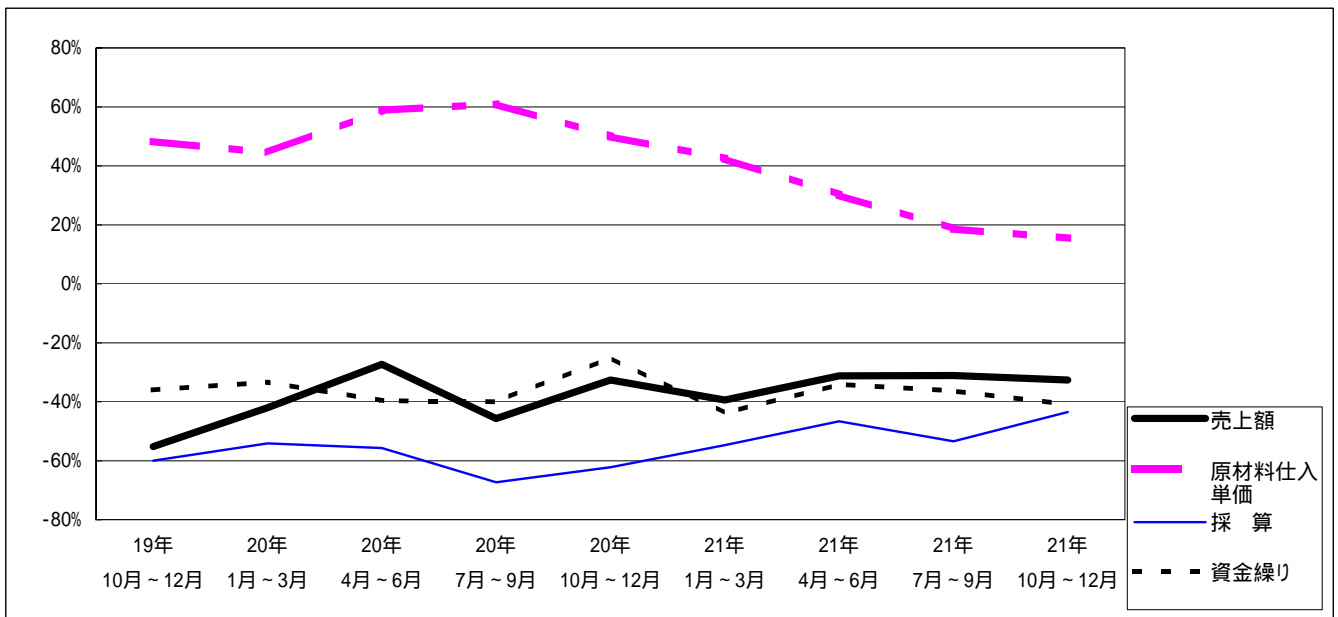
6. サービス業の景況

サービス業の推移

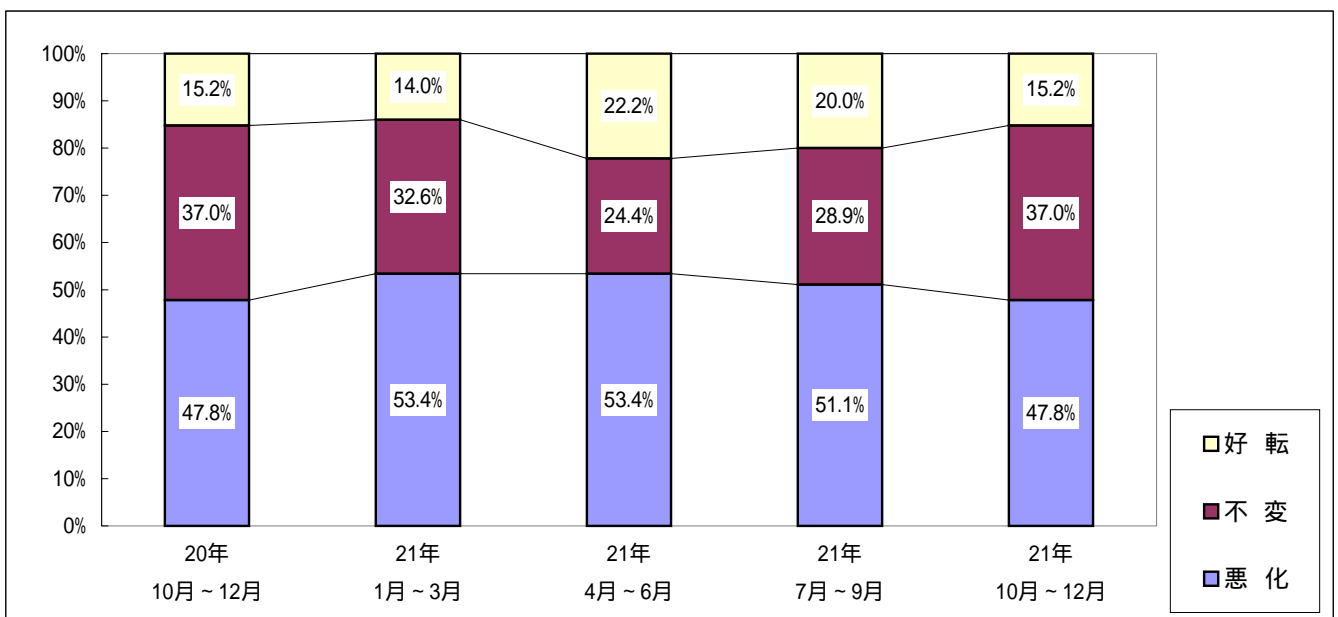
D・I（景気動向指数・前年同期比）は、売上額がマイナス32.6(前期比1.5ポイント低下)、採算はマイナス43.5（同9.9ポイント上昇）、資金繰りはマイナス40.9（同4.6ポイント低下）となり、厳しい状況が続いている。

サービス業	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月
売上額	-32.6%	-39.4%	-31.2%	-31.1%	-32.6%	-40.8%
原材料仕入単価	50.0%	42.5%	30.2%	18.6%	15.5%	7.5%
採算	-62.2%	-54.7%	-46.6%	-53.4%	-43.5%	-50.0%
資金繰り	-25.0%	-43.9%	-34.1%	-36.3%	-40.9%	-39.0%

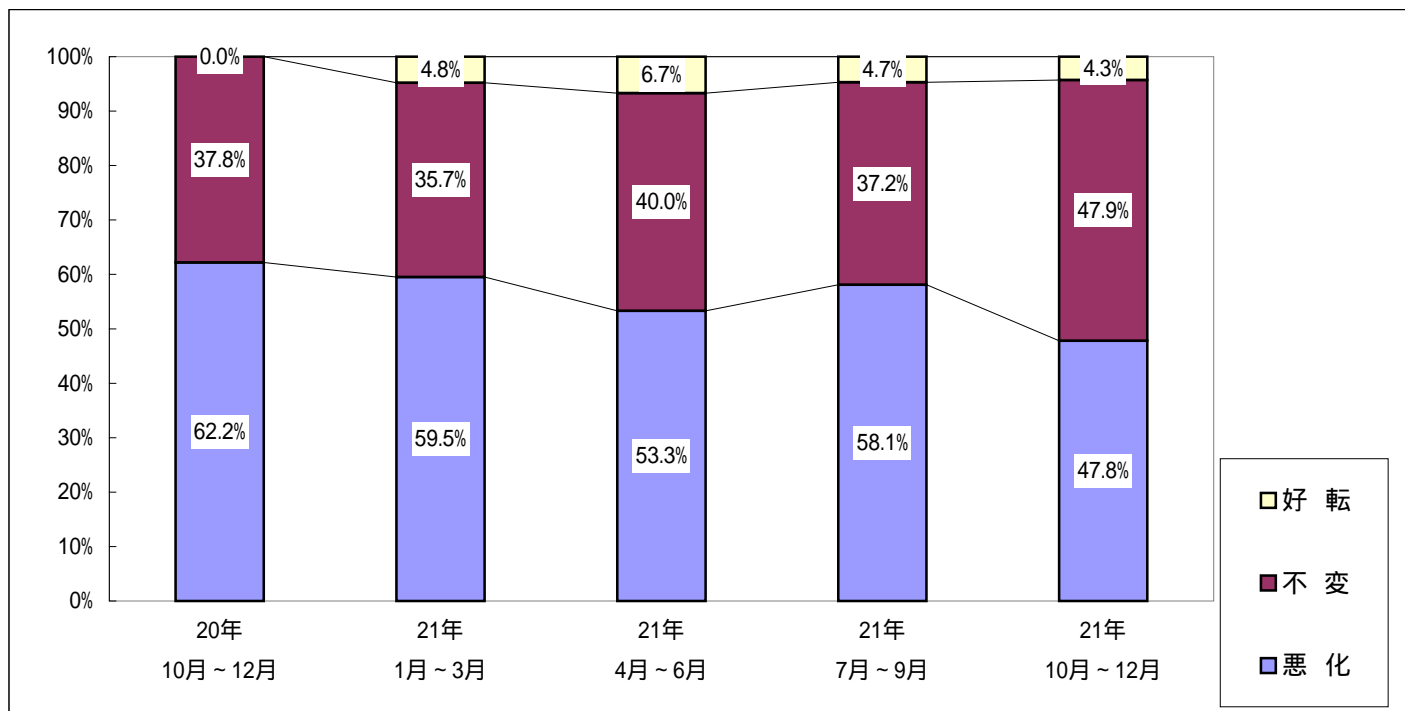
サービス業 D・I（景気動向指数）の推移 - 前年同期比 -



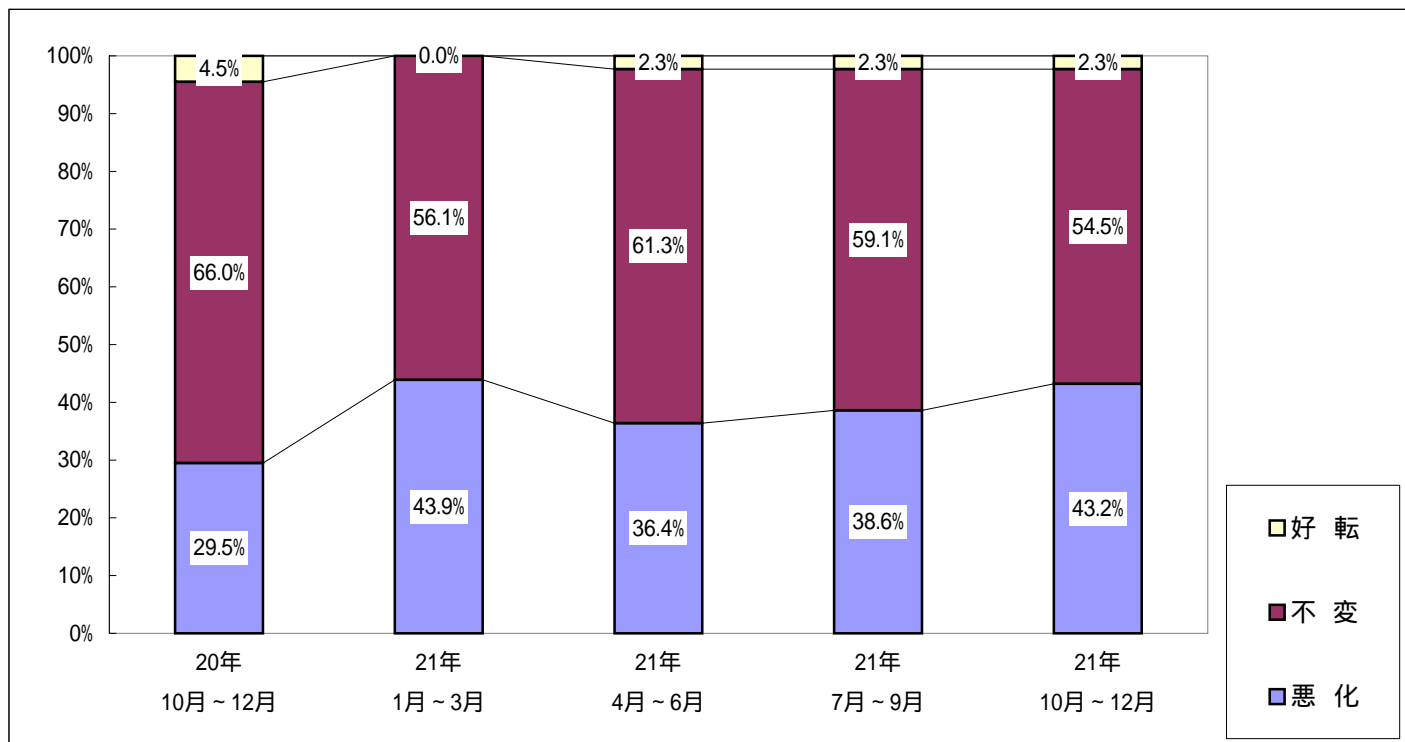
売上（収入）額の状況 前年同期比（D・I値）



採算の状況 前年同期比（D・I値）



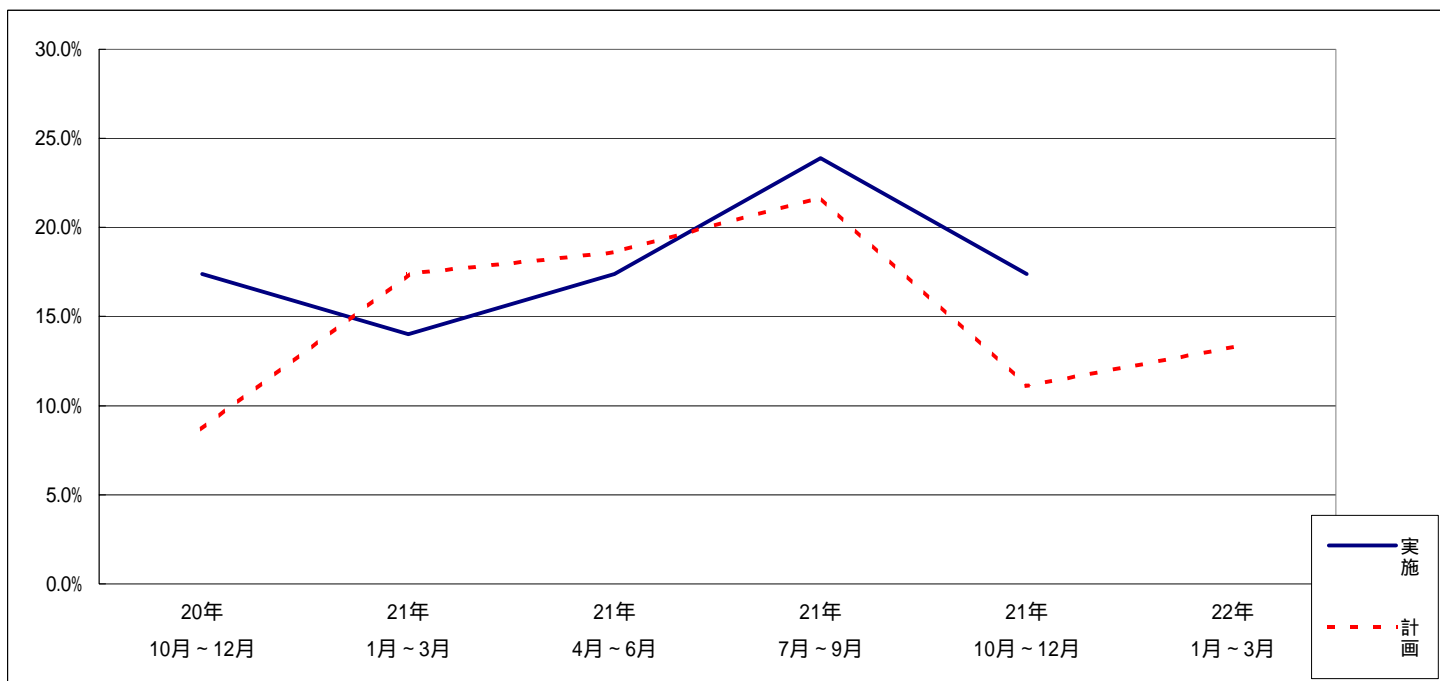
資金繰りの状況 前年同期比（D・I値）



設備投資の状況

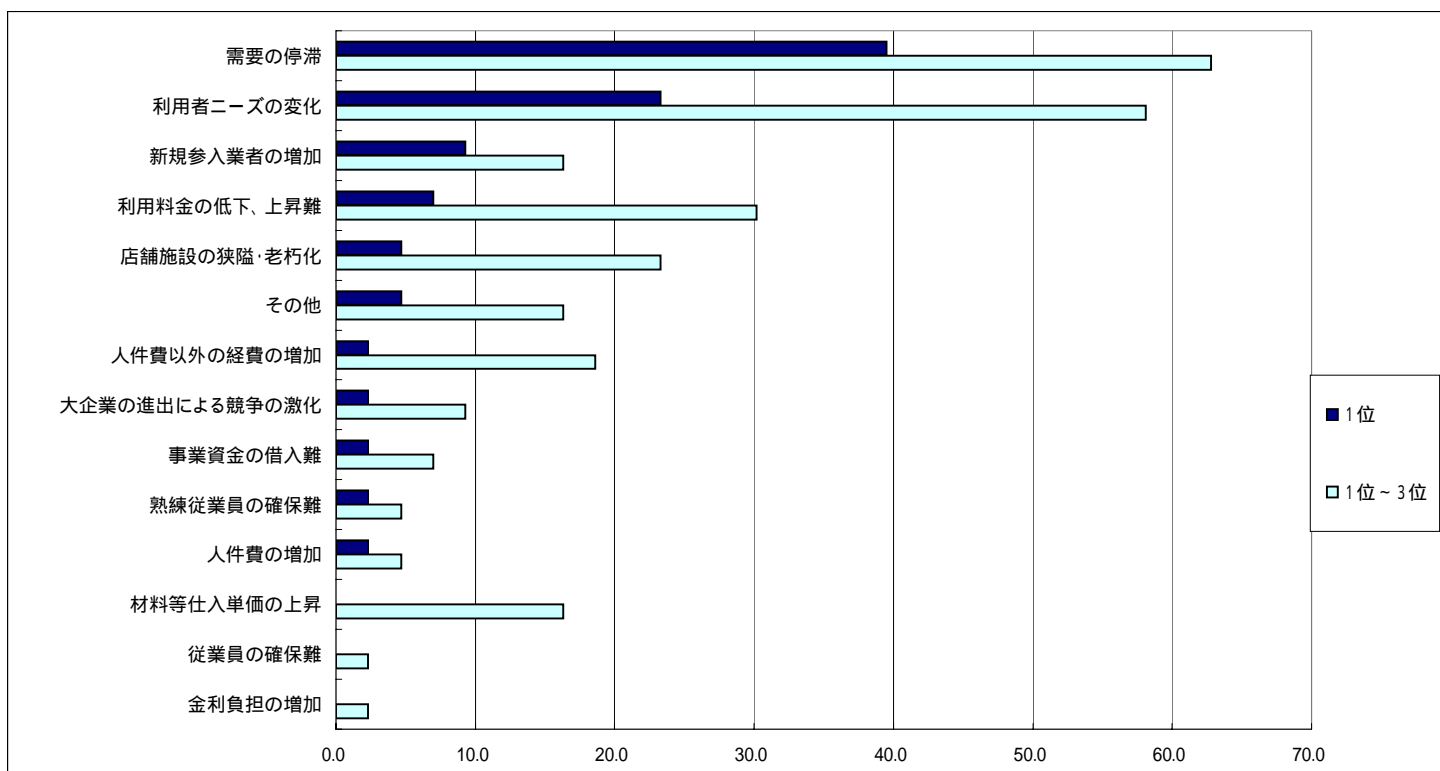
サービス業	20年 10月～12月	21年 1月～3月	21年 4月～6月	21年 7月～9月	21年 10月～12月	22年 1月～3月
土地	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
車両・運搬具	25.0%	0.0%	37.5%	18.2%	37.5%	50.0%
サービス設備	25.0%	33.3%	12.5%	27.3%	12.5%	0.0%

22年1月～3月期については計画の数値を入力



計画については調査実施時期を基準に翌期の予定を記入のため折線グラフに期の差が生じる。

経営上の問題点



(注)問題点の1位にあげた企業の割合

京都府商工会連合会

京都市右京区西院東中水町17番地
(西大路通り五条下ル東側)

京都府中小企業会館四階

郵便番号 615-0042

TEL. (075) 314-7151

FAX. (075) 315-1037

e-mail:office@kyoto-fsci.or.jp